

久留米市は、小規模多機能型居宅介護施設の整備を進めています。

一方で、障害児（者）

の暮らしを支援するサ

ービス基盤の整備は、

十分とはいえない状況

があり、そこで、特区

を申請し、小規模多機

能型居宅介護施設で、

高齢者と障害児（者）

を一緒に介護していま

す。

医療行為の必要な障

害児（者）の家族は、

365日、24時間の介

護になるため、家族の

リフレッシュの意味が



大きいようです。

周南市は、「休日・夜間

こども急病センター」

西宮市でも、平日夜

間、日・祝日に、小児

科、内科の応急診療を

行っています。周南市

は、診療の30%～50%

が子ども。そこで、「社

会保険徳山中央病院」

で、子どもに特化した

診療をしています。市

の補助はありません。

## 視察を終えて

鹿兒島市では、幼保

連携型の「認定こども

園」の現地視察もあり

ました。私立幼稚園の

空き教室を利用して、

30人の保育所児を受け

入れています。3才未

満児は、保育所。3才

以上児は、幼稚園児と

一緒に保育しています。

職員の連携や行事の

持ち方など、現場では

苦労がありそうでした。



医療行為が必要な障

害児（者）は、利用で

きる施設が限られてい

ます。しかし、特区を

申請して、高齢者と障

害児（者）が同じ施設

で生活することには、

介護保険と障害者自立

支援法の統合につなが

っていくのではないかと

危惧します。

